

岡林優空水難事故再調査の願い

【要望趣旨】

2019年8月22日に下田川で亡くなった岡林優空（ひなた）は、本人が泳げないのにも関わらず8月23日の遺体発見当日に「自ら川に入り泳いで溺死した水難事故」として処理されてしまいました。

本件発生時、現場には優空以外に児童4人が居たことが判明していますが証言が二転三転しています。前述したとおり、優空は泳げません。お風呂で水に顔をつける練習をしていた優空がこのような形で自ら川に入り亡くなったという説明に、遺族は強い違和感を感じています。

また当日、優空が下田川に乗っていった自転車を児童らが乗って帰り、隠していたことも判明しています。その他にも、事故とするにはあまりにも不可解な点が多くあることが判明し、遺族は高知東警察署に対して再調査の願いを何度もしてまいりました。

当日現場に居合わせたのが小学生のみの今回の事故ですが、犯罪捜査として扱う事は出来ずとも優空が亡くなるに至った経緯について丁寧な調査がなされることを遺族は希望しています。

事故と決めつけての調査ではなく、先入観を持たずに最初から調査をしていただけるように、今回、警察庁宛に嘆願書を提出することにしました。あわせて署名を提出する為に協力を求めています。

真相究明の為に、皆様のお力を貸していただけますよう、お願いいたします。

氏名	住所	電話番号（任意）

※尚、署名で取得した個人情報は本目的以外には使用しません。

※提出先が変わっておりますので、前回ご協力していただいた方も署名のご協力をお願い致します。